

(4～5歳児向け) 虫歯予防支援に関する概要説明会における質疑応答記録

No.	質問内容	回答
1	フッ素うがいの効果的なタイミングや回数を教えてください。(1日1回だけで良いのか?食後、毎回した方が良いのか?など)	タイミングに関しては、「フッ素うがい実施後30分は飲食やうがいを避けること」がポイントになりますので、それが守られやすい、任意のタイミングで結構です。回数に関しては、動画の21:45頃~にもご紹介している週1回法、週2回法、週5回法など、施設の実情にあわせてご選択ください。
2	補助金支援の対象のことにについて説明をお願いします。	4～5歳児クラスの児童が対象です。
3	園でもフッ素を含む洗口液でぶくぶくうがいをした方が良いでしょうか。(現在は食後に0～1歳児はお茶で口の中をきれいにする、2～5歳児は歯ブラシで自分で磨く習慣にしています(職員も手伝いつつ))	歯磨きなどとあわせて実施いただくことで、さらなる虫歯予防効果が期待できます。
4	洗口液はどこで買えますか?	支援対象の施設様には別途お伝えする予定としております。
5	子ども達の個人持ちのコップを使用してよいのでしょうか?	持参しているコップをつかって結構です。
6	薬剤が劇薬と聞いて驚いています。毎日フッ素うがいを実施することで、体内に蓄積されての健康被害等がありますか?	粉の状態では劇薬ですが、水での溶解後は、普通薬(安全性の高い薬)に分類され、口腔内に適用するものとして安全性が承認されています。フッ化物(フッ素)は体を構成している元素のひとつで、体にとって必要なものなので必要な量は体に蓄積されますが、必要のない分は、尿や便などから排泄されます。蓄積されることによる健康被害はありません。
7	量が少ないのに一回あたり1分がすごく長いと感じます。やっているうちに飲み込んだりしないのでしょうか?	年少から水で練習して、1分間できるようになったお子さんから始めている園もあります。また、飲み込んでしまっても健康被害はありません。なお、保護者の同意が得られなかったお子様は水で実施する場合があります。
8	高濃度で短時間(例えば週1回法の900ppmを使って毎日10秒間など)ではだめなのでしょうか?	1分間やっていただく必要があります。1分間の音楽を流すなどで、習慣化していただければと思います。なお、途中で吐き出してしまっても、効果がないわけではありません。
9	最近は虫歯の子はほとんどいないが、それでもやったほうが良いのでしょうか?	今は虫歯がなくても、のちのち虫歯が増えていきます。乳歯は小学校中～高学年まで残りますが、のちに生えてくる永久歯の質を強化するため、乳歯のうちからの虫歯予防が大切です。
10	保存は冷蔵庫で、と説明がありましたが、常温保存はできないのでしょうか?	冷蔵保存が推奨されていますので、適正に取り扱っていただく必要があります。冷蔵の場所がなければ毎回調剤してください。
11	調剤済み(既に溶かしている)薬剤は販売されていないのでしょうか?	調剤済みのもも販売されているが高価になります。まだ未定ではありますが、今回の市からの支援で調剤済み薬剤の補助まで対象にすることは、現段階では難しいと考えています。
12	うがいたあと30分開けないといけないということだが、うがい後、すぐ水でゆすぐと効果はなくなってしまうのでしょうか?	うがい直後にうがいや飲食をすると、虫歯予防効果は減ってしまいます。
13	なぜ4～5歳児のみ対象なののでしょうか。それ以前からフッ素うがいはいけないのでしょうか?	ぶくぶくうがいができる年齢等を考え、4～5歳児に設定しております。厚生労働省が示す「フッ化物洗口の推進に係る基本的な考え方」でも、4歳～14歳に推奨するとされています。
14	うがいを実施するにあたり歯磨きもしたほうが良いのでしょうか?	フッ素うがい前の歯磨きは必須ではありませんが、ブランク(歯垢)はフッ素うがいで取り除けないので、併用していただくほうが望ましいです。
15	担任が手本で使う分は補助の対象となりますか?	お手本は必ずしも薬剤を含んだものでなく、水でもできるので、補助対象とすることは考えておりません。